

平成27年11月18日

館山市長 金丸 謙一 様

館山市総合計画審議会
会長 杉井 繁樹

第4次館山市総合計画について（答申）

平成26年7月25日付け館企第21号をもって諮問のあった第4次館山市総合計画の策定について、次のとおり答申します。

答 申

現在、我が国は、急激な人口減少・少子高齢社会を迎えています。人口減少は、産業・経済・生活基盤等、社会のあらゆる場面での活力低下につながる深刻な問題であり、国を挙げて、人口減少問題の克服と地域の活性化を図る「地方創生」に取り組んでいます。

そのような中、本審議会では、各種アンケートやタウンミーティング、パブリックコメントなどを通じ、広く市民の意見を取り入れ、地方創生施策の検討と、総合計画に係る審議を慎重に重ねてきました。

その結果、館山の特性・強みを活かし、市内外から選ばれるまちを目指す“まちづくりの指針”として、本総合計画案を取りまとめました。

計画の推進にあたっては、市民や「産官学金労言」の各種業界等と行政とが一丸となって、将来都市像「笑顔あふれる 自然豊かな“あったかふるさと”館山」の実現に向け、下記事項に留意しながら、弾力的で柔軟な施策展開が図られることを要望します。

記

1. 地域資源に磨きをかけ、市の新たな魅力を創出するとともに、市内外への情報発信を強化することで、定住人口・交流人口、インバウンド等の増加を図り、南房総の中心都市として、地域経済の振興を強力に推進されたい。
2. 市民とともに進める計画として、市民にわかりやすく伝え、共通認識を図りながら、多様な主体との協働のもと、必要に応じた分野横断的な施策展開に努められたい。
また、広域的な課題については、関係する市町や関係機関等と連携し、より効果的な取組を進められたい。
3. 限られた資源を有効に活用するため、ビッグデータ等の客観的データの分析や「成果指標」に基づくPDCA（計画－実行－評価－改善）の徹底により、時代の要請に応じた事業推進を図られたい。
また、将来の人口規模を見据え、長期的な視点に立った持続可能な行財政運営に努められたい。